

田尻町文化財調査報告 第3集

## 田尻町内遺跡群発掘調査概要 2

2001.3

泉南郡田尻町教育委員会



## はじめに

平成12年度に文化財を守る私たちにとって発掘調査の捏造という事件が発生したことは非常に衝撃的であると共に行政発掘調査を行う私たちにとって改めて、歴史を解明する手段のひとつとして、発掘調査が重大な責任を負っていることを肝に銘じて、新たな21世紀に恥することなく更なる調査研究を行わなければならないと痛感いたしました。

人間が住みよい環境を創造するために行われる開発がもたらす、文化財や自然に対する影響は大きいものがあります。特に埋蔵文化財は普段目に触れることなく地中に包蔵されており、地面の掘削を前提とし、埋蔵文化財を破壊してしまう開発と直接に結びつく大きな問題です。

遺跡には、田尻町の先人達のメッセージが埋蔵文化財として託されています。そのメッセージを現在の町民、更には未来の町民に伝えてゆかなければなりません。

本書は、平成12年度埋蔵文化財国庫補助事業として田尻町教育委員会が実施した発掘調査の成果を収録しています。この地域の歴史像をさらに豊かにするための資料として活用していただければ幸いです。

概要を報告するにあたり、調査にご協力いただいた地元の方々並びに関係各位にお礼申し上げるとともに、今後とも文化財保護にご理解とご協力をお願い申しあげます。

平成13年3月

泉州都田尻町教育委員会  
教育長 道浦 達久

## 例　　言

1. 本書は、泉南郡田尻町教育委員会が平成12年度に国庫補助金を受けて実施した、大阪府泉南郡田尻町域における埋蔵文化財緊急発掘調査の概要報告である。
2. 調査は泉南郡田尻町教育委員会社会教育課文化財保護係 中野篤史を担当者として、平成12年4月1日に着手し、平成13年3月31日に終了した。
3. 本書における図面の標高はT.P.(東京湾平均潮位)を用い、また方位については磁北を示す。
4. 調査の実施にあたっては、下記の諸氏の参加協力を得た。  
武本和仁、南 博之、藤田 功、河瀬一裕
5. 現地調査にあたっては、土地所有者をはじめとする工事関係者等多くの方々の協力を得た。  
感謝の意を表する。
6. 実測図のトレースは武本がおこなった。
7. 本書の執筆、編集は中野がおこなった。

# 目 次

## 第1章 埋蔵文化財調査の現状

1. 田尻町の位置と環境.....	1
2. 田尻町の埋蔵文化財調査の現状.....	1

## 第2章 調査の概要

1. 田尻遺跡の調査.....	4
田尻遺跡第9次調査.....	4
田尻遺跡第11次調査.....	6
2. 船岡山遺跡の調査.....	8
船岡山遺跡第2次調査.....	8
船岡山遺跡第3次調査.....	9

報告書抄録.....	卷末
------------	----

## 挿 図

図1 田尻町位置図.....	1
図2 遺跡分布図.....	3
図3 調査地点位置図(1/5,000)(田尻遺跡第9次調査).....	4
図4 調査区設定図(田尻遺跡第9次調査).....	4
図5 Tr.1土層断面図(田尻遺跡第9次調査).....	5
図6 Tr.2上層断面図(田尻遺跡第9次調査).....	5
図7 Tr.3上層断面図(田尻遺跡第9次調査).....	5
図8 表探遺物実測図(田尻遺跡第9次調査).....	5
図9 Tr.1出土遺物実測図(田尻遺跡第9次調査).....	5
図10 Tr.3出土遺物実測図(田尻遺跡第9次調査).....	5
図11 Tr.2出土遺物実測図(田尻遺跡第9次調査).....	5
図12 調査地点位置図(1/5,000)(田尻遺跡第11次調査).....	6
図13 調査区設定図(田尻遺跡第11次調査).....	6
図14 Tr.1上層断面図(田尻遺跡第11次調査).....	6
図15 Tr.2上層断面図(田尻遺跡第11次調査).....	6
図16 Tr.3上層断面図(田尻遺跡第11次調査).....	7
図17 Tr.3遺構平面図(田尻遺跡第11次調査).....	7

図18	Tr. 1 上層出土遺物実測図 (田尻遺跡第11次調査) .....	7
図19	Tr. 1 下層出土遺物実測図 (田尻遺跡第11次調査) .....	7
図20	Tr. 3 出土遺物実測図 (田尻遺跡第11次調査) .....	7
図21	Tr. 2 出土遺物実測図 (田尻遺跡第11次調査) .....	7
図22	調査地点位置図 (1/5,000) (船岡山遺跡第2次調査) .....	8
図23	調査区設定図 (船岡山遺跡第2次調査) .....	8
図24	土層断面図 (船岡山遺跡第2次調査) .....	8
図25	調査地点位置図 (1/5,000) (船岡山遺跡第3次調査) .....	9
図26	調査区設定図 (船岡山遺跡第3次調査) .....	9
図27	土層断面実測図 (船岡山遺跡第3次調査) .....	9

#### 挿 表

表1	過去5年間の届出件数表 .....	1
表2	遺跡別発掘届出件数表 .....	1
表3	遺跡地名表 .....	2
表4	調査地一覧 .....	2

#### 図 版

図版1	田尻町航空写真	
図版2	田尻遺跡第9次調査地遠景	田尻遺跡第9次調査Tr. 1 全景
図版3	田尻遺跡第9次調査Tr. 2 全景	田尻遺跡第9次調査Tr. 3 全景
図版4	田尻遺跡第11次調査地全景	田尻遺跡第11次調査Tr. 1 全景
図版5	田尻遺跡第11次調査Tr. 2 全景	田尻遺跡第11次調査Tr. 3 全景
図版6	船岡山遺跡第2次調査地遠景	船岡山遺跡第2次調査区全景
図版7	船岡山遺跡第3次調査地遠景	船岡山遺跡第3次調査区全景
図版8	田尻遺跡第9次調査出土遺物	田尻遺跡第11次調査Tr. 1 出土遺物
図版9	田尻遺跡第11次調査Tr. 2 出土遺物	田尻遺跡第11次調査Tr. 3 出土遺物

# 第1章 埋蔵文化財調査の現状

## 1. 田尻町の位置と環境

田尻町は大阪府の南西部、大阪湾海岸線の中央部に位置し、東は泉佐野市、南西は泉南市に接し、北西は大阪湾に面する。町域は東西約1.7km、南北約2.2kmの四角形を呈し、面積は約3.9平方kmである。関西国際空港ができるまでは町域は1.9平方kmであり、空港島及びりんくうタウンにより町域は倍に増えているが、それでも大阪府下で面積、人口とも一番小さく少ない自治体である。海岸線に並行して南海本線が、町域南部を国道26号線がとおり、泉南地域の基幹交通路となっている。町域の北東部から中央部にかけて田尻川、南西部を櫛井川が流れ大阪湾に注いでいる。



図1 田尻町位置図

## 2. 田尻町の埋蔵文化財調査の現状

田尻町はこれまで、近隣市町村と比較してあまり開発が及ばなかった地域であり、平成12年度における文化財保護法に基づく土木工事等による埋蔵文化財発掘の届出は、9件である。そのうち、民間開発が3件、個人住宅建設が4件、公共工事が2件となっている。公共工事による届出がほとんどを占めていたが、下水道の整備も終盤期にさしかかり、減少傾向にある。それに代わって近年老朽化してきている旧市街地での建て替えによる届出件数が増加してきており、関西国際空港の開港以後、徐々にではあるが、建て替えにともなうミニ開発が増加してきている状況にある。過去5年間の届出件数は表1、表2のとおりである。また、平成12年度調査地は表1のとおりである。

	個人 住宅	民間 開発	公共 工事	合計
平成8年度	1	0	3	4
平成9年度	2	0	5	7
平成10年度	2	3	5	10
平成11年度	4	4	1	9
平成12年度	4	3	2	9

表1 過去5年間の届出件数表

番号	遺跡名	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度
1	田尻遺跡	1	3	4	6	4
2	夫婦池遺跡					1
3	船岡山遺跡			2		2
4	嘉祥神社本殿					
5	船岡山南遺跡			1		
6	藤波遺跡					
7	吉見藩陣屋敷	1	3	3	3	2
8	羽倉崎遺跡					
9	櫛井西遺跡					
10	林寄遺跡	2	1			

表2 遺跡別発掘届出件数表



図2 遺跡分布図

番号	遺跡名	種類	時代	地目	立地	摘要
1	田尻遺跡	散布地	古墳	田・宅地	平地	土師器、須恵器(散布地)
2	夫婦池遺跡	散布地	弥生～古墳	溜池、畑地	平地	上師器、須恵器、瓦器(泉佐野市教委)
3	船岡山遺跡	散布地	縄文～弥生	田・畑地	平地	サヌカイト(散布地)
4	嘉祥神社本殿	建造物	近世		平地	府指定有形文化財(昭和50年3月31日)
5	船岡山南遺跡	散布地	弥生～古墳	田・溜地	平地	
6	藤波遺跡	散布地 集落跡	中世	田	平地	
7	吉見藩陣屋跡	散布地 陣屋跡	中世	宅地	平地	現況は春日神社と既存集落
8	羽倉崎遺跡	散布地	古墳	宅地	平地	
9	樺井西遺跡	集落跡	弥生～中世	田	平地	
10	林峠遺跡	その他の墓	近世	宅地	平地	陶磁器、弥生土器

表3 遺跡地名表

番号	調査地番	遺跡名	調査内容
1	嘉祥寺484-7	船岡山遺跡	発掘調査
2	吉見455、456の一部	田尻屋跡	発掘調査
3	吉見1095-1	吉見藩陣屋跡	慎重施工
4	吉見475他	田尻遺跡	発掘調査
5	吉見476～312	田尻遺跡	慎重施工
6	嘉祥寺499-1	船岡山遺跡	発掘調査
7	吉見87-1	夫婦池遺跡	慎重施工
8	吉見1114-1	吉見藩陣屋跡	立会調査
9	吉見456-1、459-1の各一部	田尻遺跡	発掘調査

表4 調査地一覧

## 第2章 調査の概要

### 1. 田尻遺跡の調査

田尻遺跡は、本町の中央部に位置する古墳時代の遺物散布地である。平成12年度において、開発に伴う事前分布調査により、遺物の散布が確認されたため同遺跡の範囲の拡大をおこなった。これまでの周辺の調査により、粘土探査坑等が検出されているが、遺跡の性格等は現段階では不明である。

#### 田尻遺跡第9次調査

##### 調査地：田尻町大字455、456の各一部

今回の調査地は、当初遺跡の範囲外であったが、開発に伴い事前に分布調査を行った結果、土師器・瓦器等の細片が散布していることが確認されたため、遺跡発見届を申請者より提出し、田尻遺跡の範囲の拡大として確認調査を実施した。調査は擁壁部と下水管埋設部について2m×1mの調査区を3ヶ所設定し、6mについて調査を実施した。

調査は、各トレーンとも最初から人力により掘削し、土層の堆積状況、遺物の包含状況及び遺構の確認を行った。

調査区の層序は上から耕土(約15cm)、灰黃

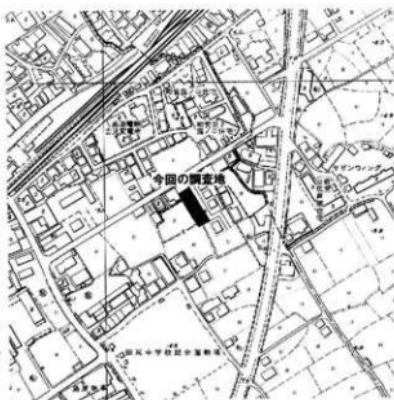


図3 調査地点位置図 (1/5,000)

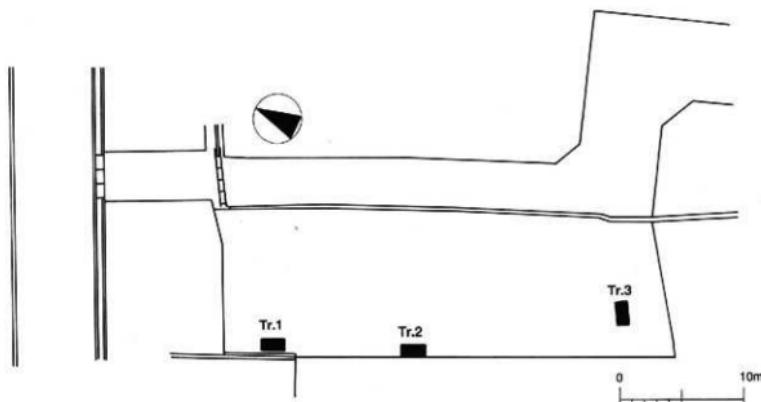


図4 調査区設定図

色土(約15cm)、黄灰色土(約10cm)、灰褐色土(約12cm)、黄橙色粘質土(約20cm)、暗灰色粘質土(約25cm)、灰オリーブ色粘質土の順に堆積していく地山は確認できなかった。

灰褐色土中からは、土師器及び瓦器等の中世の土器片が出土している。また、暗灰色粘質土中より須恵器片が検出された。各調査区とも遺構は検出されなかった。

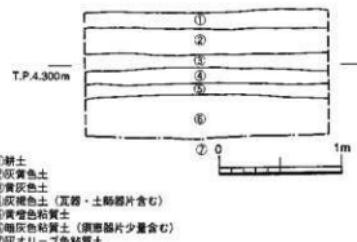


図5 Tr. 1 土層断面図

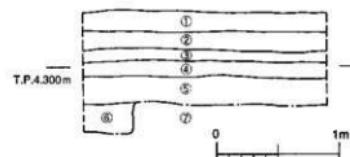


図6 Tr. 2 土層断面図

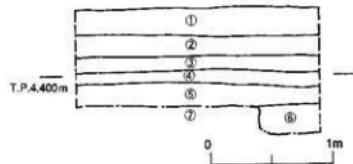


図7 Tr. 3 土層断面図

#### 出土遺物

今回の調査では、灰褐色粘質土中より瓦器、土師器等の遺物が、暗灰色粘質土中より須恵器片が出土している。

図8は今回の調査地での表探遺物である。1は土師質皿、2・3・4は土師質管状土錐である。

図9はトレンチ1より出土した遺物である。1・2は土師質管状土錐、3・4は瓦器碗である。

図10はトレンチ3より出土した瓦器碗である。

図11はトレンチ2より出土した遺物である。1・2は土師質管状土錐、3・4は土師質皿、5は瓦器碗である。

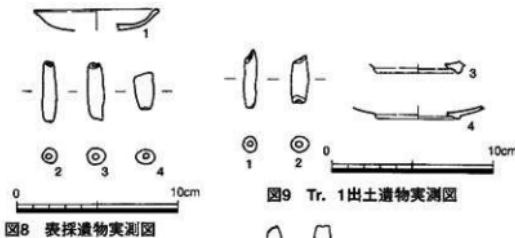


図8 表探遺物実測図

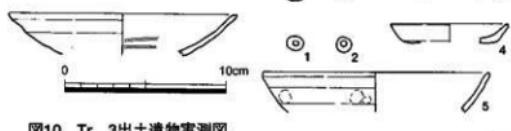


図9 Tr. 1 出土遺物実測図

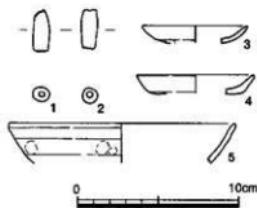


図10 Tr. 3 出土遺物実測図



図11 Tr. 2 出土遺物実測図

## 田尻遺跡第11次調査

調査地：田尻町大字456-1、459-1の各一部

今回の調査地は、第9次調査地の東に隣接している。調査は下水道管理設部と擁壁部において、 $1.5m \times 2m$  の調査区を3ヵ所設定し、 $9m^2$ について調査を実施した。

調査は最初から人力により掘削し、土層の堆積状況を確認しながら、遺構の検出に努めた。調査区の層序は、上から耕土(約15cm)、黄褐色土(約15cm)、黄灰色土(約12cm)、灰黄色土(約10cm)、褐灰色土(約10cm)、灰色粘質土(約15cm)の順に堆積している。

調査区1、2からは遺構を検出されなかった。

調査区3からは土坑2、ピット2を検出した。



図12 調査地点位置図 (1/5,000)

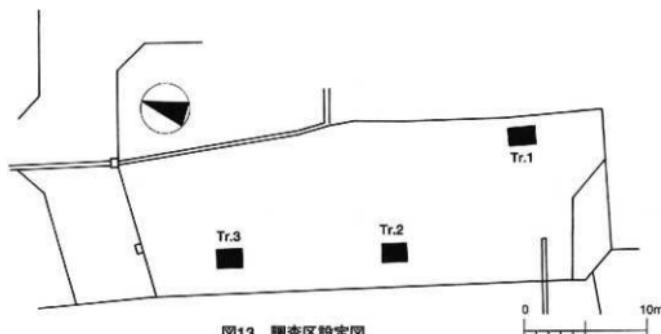
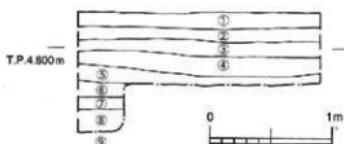
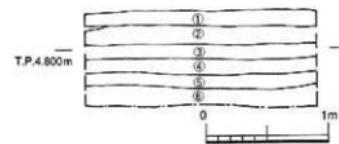


図13 調査区設定図



- ①耕土
- ②黄褐色土 (床土)
- ③黄灰色土
- ④灰黄色土
- ⑤褐灰色土
- ⑥黃灰色粘質土
- ⑦灰色粘質土
- ⑧褐灰色粘質土
- ⑨黃褐色粘質土

図14 Tr. 1 土層断面図



- ①耕土
- ②黄褐色土 (床土)
- ③黄灰色土
- ④灰黄色土
- ⑤褐灰色土
- ⑥灰色粘質土

図15 Tr. 2 土層断面図

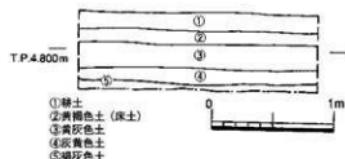


図16 Tr. 3 土層断面図

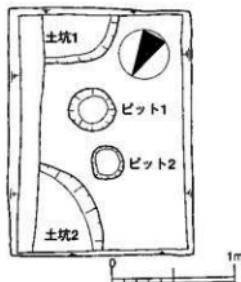


図17 Tr. 3 遺構平面図

**土坑1** 検出した土坑の規模は、検出長65cm、

検出幅40cm、深さ5cmを測る。遺構の埋

積土は灰褐色土である。遺物はたこ壺の破片が出土している。

**土坑2** 検出した土坑の規模は、検出長56cm、検出幅75cm、深さ4cm、灰褐色土を埋積土とする土坑である。遺物はたこ壺の破片が出土している。

**ピット1** 径40cm、深さ6cmを測り浅い皿状を呈している。遺構の埋積土は灰褐色土で、遺物は出土していない。

**ピット2** 径26cm、深さ7cmを測る。遺構の形状は浅い皿状を呈する。埋積土は灰褐色土である。遺物は出土していない。

#### 出土遺物

各調査区からは、主に中世の遺物が出土している。

図18はトレント1より出土した遺物である。1、2は土師質管状土錘、3は瓦器碗である。

図19はトレント1下層より出土した遺物で、1は土師質管状土錘、2、3は土師器皿、4、5、6は瓦器である。

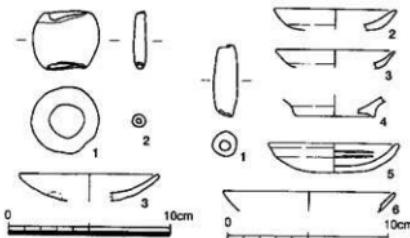


図18 Tr. 1 上層出土遺物実測図

図19 Tr. 1 下層出土遺物実測図

図20はトレント3より出土した遺物である。

1は土師質管状土錘、2は土師器、3は須恵器である。

図21はトレント2より出土した遺物である。

1は土師質土錘、2、6は土師器、3、5は須恵器、4は瓦器である。

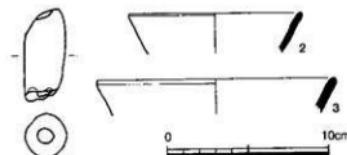


図20 Tr. 3 出土遺物実測図

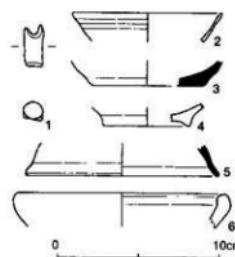


図21 Tr. 2 出土遺物実測図

## 2. 船岡山遺跡の調査

船岡山遺跡は、本町の南東部に位置する縄文～弥生時代の遺物散布地である。これまでの本町内での同遺跡の調査は、ほとんどなく調査も小規模であり、いまだに遺跡の詳細については明確ではない。

### 船岡山遺跡第2次調査

調査地：田尻町大字嘉祥寺484-7

当該地は、船岡山遺跡の中央部、船岡山（標高25.6m）の北部に位置している。

今回の調査は、個人住宅の建築に伴い浄化槽設置部分について遺構、遺物の確認調査を実施した。

敷地内に2m×3mの調査区を設定し、機械と人力により慎重に掘削し、壁面と床面の観察、及び遺構、遺物の検出につとめた。調査区の層序は、上から盛土（75cm）、耕土（10cm）、床土（10cm）、灰褐色土（10cm）、黄灰色粘質土（10cm）の順に堆積している。

黄灰色粘質土を掘り込むスキ溝2本を検出した。遺物は出土していない。



図22 調査地点位置図 (1/5,000)

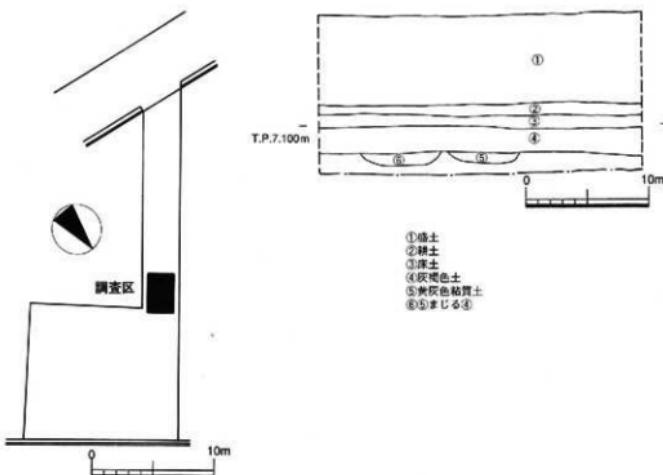


図23 調査区設定図

図24 土層断面図

## 船岡山遺跡第3次調査

調査地：田尻町大字嘉祥寺499-1

当該地は、船岡山遺跡の中央部、船岡山（標高25.6m）の北部に位置している。

今回の調査は、個人住宅の建築に伴い浄化槽設置部分について造構、遺物の確認調査を実施した。

敷地内に3.0m×1.5mの調査区を設定し、4.5m<sup>2</sup>について機械と人力により慎重に掘削し、壁面と床面の観察、及び造構、遺物の検出につとめた。調査区の層序は、上から耕土（20cm）、灰黄色土（20cm）、灰白色砂の順に堆積している。地表面から1.8mほど掘削したが、砂層からの湧水が激しく壁面の崩壊の危険性もあったので、地山は検出できなかった。遺物は出土していない。



図25 調査地点位置図 (1/5,000)

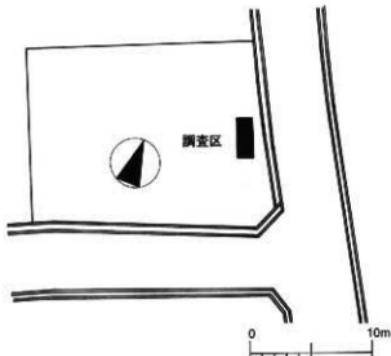


図26 調査区設定図

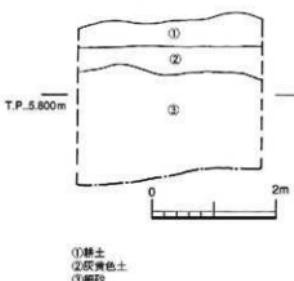


図27 土層断面図

# 図 版

図版  
1



田尻町航空写真



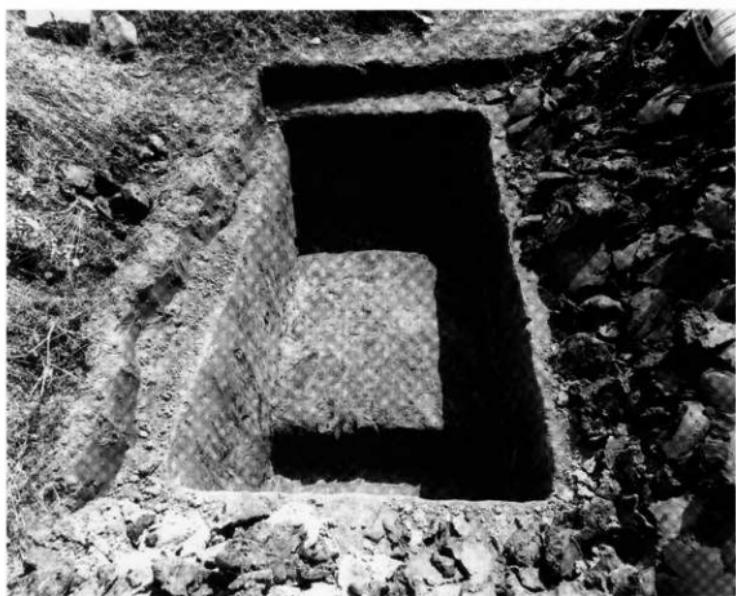
田尻遺跡第9次調査地遠景



田尻遺跡第9次調査Tr.1全景



田尻遺跡第9次調査Tr. 2 全景



田尻遺跡第9次調査Tr. 3 全景



田尻遺跡第11次調査地全景



田尻遺跡第11次調査Tr. 1 全景



田尻遺跡第11次調査Tr. 2 全景



田尻遺跡第11次調査Tr. 3 全景



船岡山遺跡第2次調査地遠景



船岡山遺跡第2次調査地全景

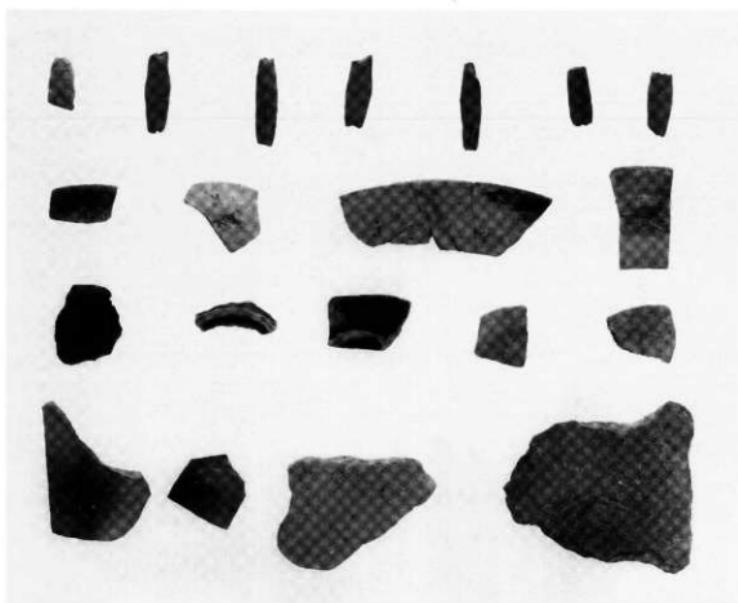


船岡山遺跡第3次調査地遠景

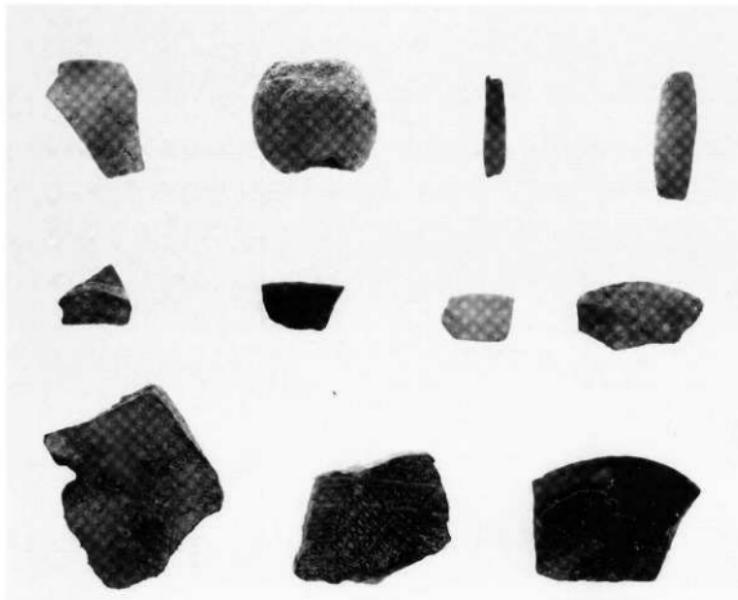


船岡山遺跡第3次調査区全景

図版 8

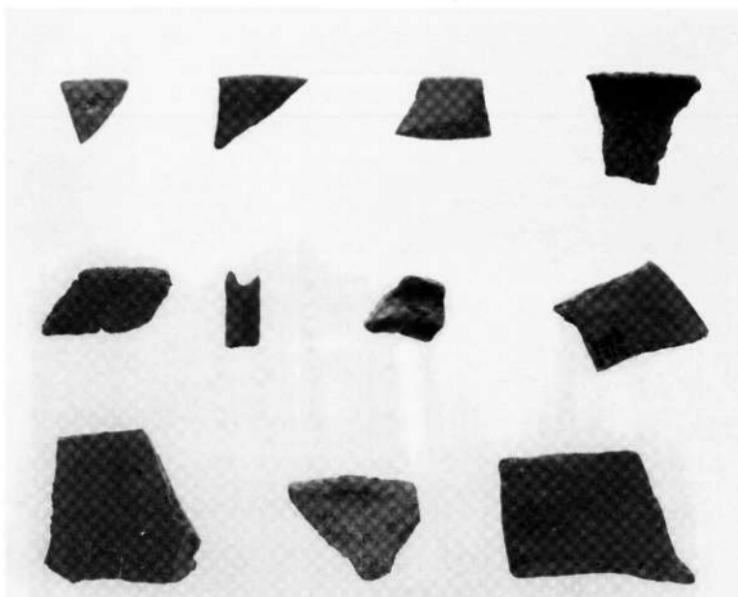


田尻遺跡第9次調査出土遺物

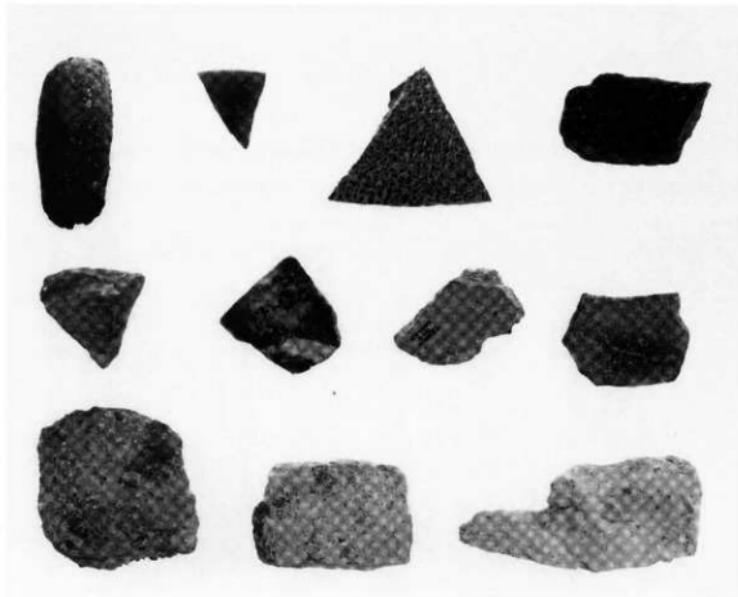


田尻遺跡第11次調査Tr. 1 出土遺物

図版 9



田尻遺跡第11次調査Tr. 2 出土遺物



田尻遺跡第11次調査Tr. 3 出土遺物

# 報告書抄録

ふりがな	たじりちょうないいせきさんはつくつちようきがいよう							
書名	田尻町内遺跡群発掘調査概要							
副書名								
卷次	2							
シリーズ名	田尻町文化財調査報告							
シリーズ番号	第3集							
編著者名	中野 篤史							
編集機関	泉州南都田尻町教育委員会							
所在地	大阪府泉州南都田尻町大字嘉祥寺375番地の1							
発行年月日	2001年3月31日							
所取遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 (m <sup>2</sup> )	調査原因
		市町村	遺跡番号					
田尻遺跡 (第9次)	大阪府泉州南都田尻町吉見			34° 23' 43"	135° 17' 48"	平成12年 5月9日～ 5月10日	6	賃貸住宅の 建築
田尻遺跡 (第11次)	大阪府泉州南都田尻町吉見			34° 23' 43"	135° 17' 48"	平成12年 12月19日～ 12月21日	9	賃貸住宅の 建築
船岡山遺跡 (第2次)	大阪府泉州南都田尻町嘉祥寺			34° 23' 63"	135° 17' 84"	平成12年 5月2日～ 5月8日	6	個人住宅の 建築
船岡山遺跡 (第3次)	大阪府泉州南都田尻町嘉祥寺			34° 23' 63"	135° 17' 84"	平成12年 12月15日～ 12月18日	4.5	個人住宅の 建築
所取遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
田尻遺跡 (第9次)	散布地	古墳～中世	なし	土師器・須恵器 瓦器				
田尻遺跡 (第11次)	散布地	古墳～中世	土坑2 ピット2	土師器・須恵器 瓦器				
船岡山遺跡 (第2次)	散布地	縄文～弥生	なし	なし				
船岡山遺跡 (第3次)	散布地	縄文～弥生	なし	なし				

田尻町文化財調査報告 第3集

田尻町内遺跡群発掘調査概要 2

2001年3月

編集・発行 泉南郡田尻町教育委員会

〒598-8588

大阪府泉南郡田尻町大字竜祥寺375番地の1

TEL0724-66-1000 (代表)

印 刷 株式会社小笠原印刷

